

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成26年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立育精福祉センター成人寮	所管課	障害福祉課
所在地	南アルプス市有野3303-2	設置年月日 (改築年月日等)	昭和47年4月1日 (平成11年11月30日)
管理方式	指定管理者(社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会、平成25年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例		
設置目的	18歳以上の知的障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図ること。		
主な施設内容 (定員等)	施設内容:成人一寮棟(1,312.60㎡)、成人二寮棟(1,429.65㎡)、療育棟(342.6㎡)、管理棟(所長室、倉庫及び医務室)(約101㎡)、車庫(約51㎡) 定員:生活介護(105人)・短期入所(9人)・施設入所支援(90人)		
主な業務内容	施設及び設備器具の維持保全に関する業務 利用者に対するサービス業務(生活介護、短期入所、施設入所支援) その他知事が必要と認める業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	近隣施設 ・山梨県立あけぼの医療福祉センター:医療型障害児入所(療養介護)(80人)、 児童発達支援(15人)、生活介護(15人)、短期入所(15人) ・山梨県立育精福祉センター児童寮:福祉型障害児入所(70人(施設入所・生活 介護30人含))、短期入所(7人)
---------------------	---

3 利用状況

単位:人、%

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 (目標値)
利用者数	生活介護		99	99	105
	施設入所支援		87	89	90
	短期入所		9	8	9
	利用者数合計		195	196	0
	目標値		204	204	204
	目標値設定の考え方及びその理由		施設の性格上、利用者数に目標値を設定することは馴染まないことから定員を目標値とする	施設の性格上、利用者数に目標値を設定することは馴染まないことから定員を目標値とする	施設の性格上、利用者数に目標値を設定することは馴染まないことから定員を目標値とする
	対25年度比			104.6%	104.1%
稼働率			95.6%	96.1%	

#### 4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成25年度	平成26年度 (計画値)	平成26年度 (実績値)	平成27年度 (計画値)
収 入	施設利用料	441,685,744	422,429,000	449,290,541	404,964,000
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	229,948	0	226,528	0
	収入合計(A)	441,915,692	422,429,000	449,517,069	404,964,000
支 出	人件費	223,606,551	261,930,000	244,534,642	286,220,000
	県への納付金	25,023,000	15,099,000	15,099,000	5,116,000
	管理運営費	119,728,307	145,400,000	115,401,849	113,628,000
	うち外部委託費(B)	10,670,421	11,500,000	11,936,178	11,500,000
	支出合計(C)	368,357,858	422,429,000	375,035,491	404,964,000
収支差額(A-C)		73,557,834	0	74,481,578	0
外部委託比率(B÷C)		2.9%	2.7%	3.2%	2.8%
利用者一人当たりの経費					

#### 5 利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成27年1月 実施方法：利用者へのアンケート 回答数：98人
-------	--

単位：%

調査項目	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満
相談や要望対応	51.3%	41.0%	6.4%	1.3%
プライバシー	60.5%	28.4%	4.9%	6.2%
食事	30.9%	34.6%	25.9%	8.6%
入浴や身だしなみ	48.2%	43.0%	6.3%	2.5%
健康管理	72.7%	22.1%	5.2%	0.0%
買い物や外出	37.2%	35.9%	20.5%	6.4%
施設全般の満足度	43.6%	44.1%	8.9%	3.4%

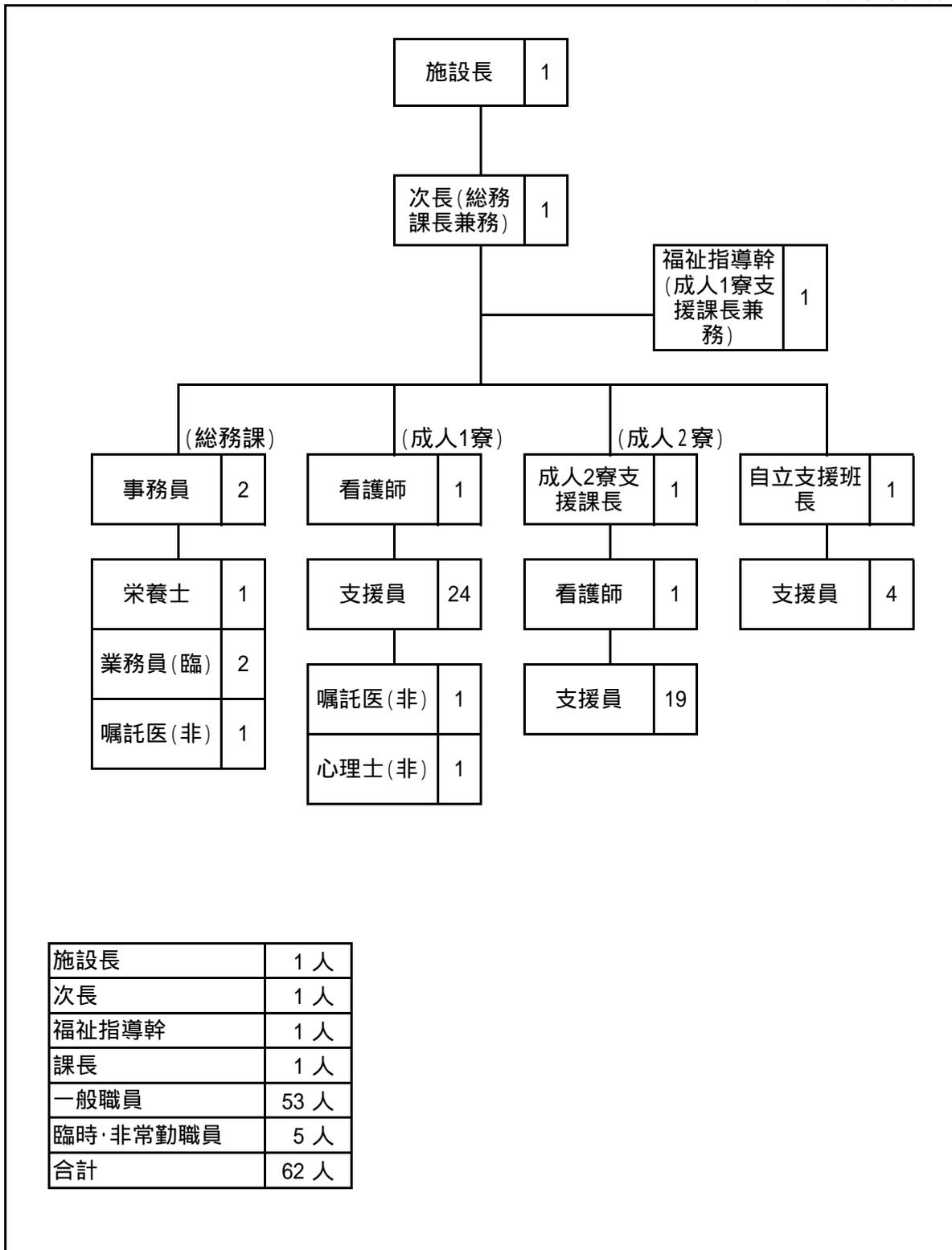
利用者の意見	もっとおいしいご飯が食べたい。あったかいご飯を食べたい。 日帰り旅行など、もっと外出したい。 トイレを温かくして欲しい。
利用者の意見 への対応	嗜好調査を踏まえ、調理や献立を工夫していくとともに、適温給食の提供につ いては早期の対応を検討していきたい。 利用者の外出機会を増やせるように考慮していきたい。 加齢による身体機能の低下や、障害特性をふまえ、気持ちよく居心地良い空間 の在り方について配慮していきたい。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設の不具合について、速やかな対処ができています。業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。老朽化した設備について、異常が確認された場合は、早急に県に報告すること。
運營業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業計画書に基づき適正に実施されている。今後も引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力されたい。
自主事業	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業計画書に基づき適正に実施されている。
利用状況	各サービス事業の年間利用実績から、各サービスとも概ね計画どおり執行が出来た。	概ね計画どおりの利用が図られている。
収支状況	計画以上の利用料収入があり、安定した経営が見込める。今後は人件費増が見込まれることから、引き続き、効率的な運営に努めていく。	県職員の派遣期間が平成27年度で終了することから、人件費の増額を見込んだ効率的な運営を図ること。
利用者満足度	「満足」「どちらかといえば満足」との回答が多く出ている。今後においても利用者の視点に立ったサービスの提供を心がけていく。	全体的には満足を得られているものの、食事や外出の項目では不満足と感じている利用者の割合が高いことから、引き続き利用者のサービス向上のために努力をすること。
運営目標の達成状況	個別支援計画に沿ったサービスを提供するとともに、定期的な評価・アセスメントを実施することで、利用者ニーズに合った質の高いサービスを適時に提供できた。個々の利用者の状況を把握し、必要に応じた支援を行なうことにより、利用者の生活の質を向上させることができた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	利用者の満足度が高く、保護者との関係も良好である。 質の高いサービスを提供しつつ効率的に運営している。 利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努力している。なお、県職員の派遣終了に伴う要員確保に努められたい。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	引き続き利用者の満足を得られるよう、質の高いサービスの提供に努めていきます。 今後も、条例、協定等に基づき施設管理運營業務を適正に履行していきます。 利用者や保護者の意向や生活状況を踏まえて、自立した生活が営めるよう個別支援計画を作成し必要な支援を行っていく。また、職員確保については、養成校など広く募集活動を行って採用活動に注力していきます。	

7 管理体制(組織図)

平成26年4月1日現在



施設長	1人
次長	1人
福祉指導幹	1人
課長	1人
一般職員	53人
臨時・非常勤職員	5人
合計	62人